

学生大使 実施報告書

氏名:本庄加奈

学部・学科(コース)・学年:医学部・看護学科・2年

派遣先大学:ラトビア大学

派遣期間:2025/2/27~2025/3/13

1 日本語教室での活動内容

私は日本語教室で折り紙、知育菓子、あやとり、ホワイトボードを持参したのでそれらを使用した授業を主に行いました。折り紙、あやとりは自分が事前に練習したものを学生に教え、一緒に実施しました。知育菓子は日本語の説明を読みながら実施してもらいました。ホワイトボードを使った授業では、漢字の成り立ちや絵しりとり、日本語を書く練習などを実施しました。

2 日本語教室以外での交流活動

休日、平日共に現地学生または社会人と約束を取り付け、行きたい場所に連れて行ってもらいました。具体的にはカフェやオペラ、動物園、歴史的建造物、遠くの観光地などに行きました。約束を取り付けられなかった日でも日本人のみで行きたい場所へ行っていました。

3 参加目標への達成度と努力した内容

私の参加目標は日本の文化を伝えて、ラトビアとの文化の違いについて学ぶということでした。この目標に関しては達成できたと思います。学校の規則、料理、大学の入試制度、働き方、宗教、文法について会話をしました。特にラトビア人が驚いてくれたのは学校の規則です。日本の学校は基本的に制服があり、ピアスやタトゥー、メイク、ネイルは当たり前禁止で、厳しいところだとインナー、靴下の色まで決まっていることを伝えるととても驚いていました。ラトビアでは基本的に制服はなく、規則もないといっていました。これは私が一番驚いたことなのですが、働いている人にも基本的に制服がありませんでした。カフェの店員やコンビニの店員、バスの運転手など日本では制服を着て働いていますがラトビアでは普通の私服で働いていて、お店の店員は社員証を首からぶら下げていますが、バスの運転手はネームも何もなく、とても驚きました。身分が知れない人に命を預けるのはこんなにも恐ろしいことなのだということに気付かされました。また、ラトビアは駅やお店にあるトイレが有料でとても驚きました。物乞いの方やホームレスの方を結構見かけたのでば防犯対策であるとは思いますが現金をあまり持っていない私からするととても不便でした。努力したことはその人に合った授業をすることです。人によって日本語のレベルが異なるので授業の仕方も変えました。日本語が得意な人には基本的に日本語で会話をし、分からないことがあったらその都度説明をしました。簡単な言葉を使ったゲームも日本人が普段するようにルールを変えずに行いました。一方で日本語をあまり話せないし、聞けないという人には基本的に英語で会話をし、簡単な日本語を少しずつ教えていくという感じにしました。ゲームルールを変えてあまり日本語が分からなくても参加できるようにしました。

4 プログラムに参加した感想

今回の学生大使としての派遣が二度目だったので前回よりは上手く授業をできるようになったと思いました。最初から積極的に話かけることはできませんでしたが、時間が経つに連れて会話が増え、言語や、生まれた国が違ってもお互いのことを分かり合えるようになったと思います。前回も同じことを思

【学生大使 実施報告書】

いましたがたとえ国が違っても同じ人間なんだと改めて思います。今世界で起こっている戦争で戦っている人間たちも私と何も変わらない同じ人間なのだと思うと人ごとではないと強く感じました。今回の派遣では大使館へ行き、大使と実際に話すという特別な機会がありました。大使が「以前に国連で働いていたが、世界で起きていることの最前線に立って現場を知れるというのは非常に楽しかった。」とおっしゃられており、その道に行くのは大変だとは思いますがやりがいがありそうだと、自分の将来の選択肢が増えたと思いました。また、大使館で働く事務職の方や料理人の方にどうしたら大使館で働けるのかを聞いたところ、国際交流サービスに自分の情報と持っている免許を登録すると大使館で働ける機会が回ってくると聞き驚きました。実際に働いている方に聞かないと知り得なかった情報だと思うので大使館に行くという貴重な機会を頂けたことに感謝しています。今回のラトビア派遣で一番楽しみにしていたオペラも見れたのでとても大満足の学生大使としての活動だったと思います。日本語教室をお休みして個人の活動を優先させてくださった菅原先生、本当にありがとうございました。

5 今回の経験を踏まえた今後の展望

こちらも前回学生大使として派遣された時に思ったのですが英語の大切さを見に沁みて感じたので大学在学中にマスターできるようにしたいと思いました。前は日本語のレベルがとても高い人たちと一緒に行動していたので日本語で距離を縮めて、日本人の友人と変わらないぐらいの接し方をできていたのですが、今回は日本語で距離を縮めることが難しい場面が多々あり、英語をもっと話すことができれば細かいニュアンスを伝えられ、冗談を言い合えるような仲になったのではないかと思います。悔しかったのでこれからは英語の勉強をしっかりとしていきたいと思います。

【学生大使 実施報告書】

6 現地での活動写真

写真1

オペラ



写真2

リガ



写真 3

宮殿



写真 4

図書館

